

第5号様式（第7条関係）

会 議 録

会議の名称	令和7年度第3回清須市地域包括ケアシステム推進委員会
開催日時	令和8年2月16日（月）午後2時から午後2時40分
開催場所	清洲総合福祉センター つながり広場
議題	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 清須市の認知症への取組について（資料1）</p> <p>(2) 就労的活動支援について（資料2）</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
会議資料	<p>次第</p> <p>別添1 令和7年度清須市地域包括ケアシステム推進委員会委員名簿</p> <p>別添2 清須市地域包括ケアシステム推進委員会設置要綱</p> <p>資料1 清須市の認知症への取組について</p> <p>資料2 就労的活動支援について</p>
公開・非公開の別 （非公開の場合 はその理由）	公開
傍聴人の数 （公開した場合）	—
出席委員	加藤（裕）委員（委員長）、小関委員（副委員長）、鹿山委員、加藤（真）委員、河村委員、櫻井委員、鎌田委員、宮田委員、丹羽委員、高松委員、服部委員、中谷委員、坂巻委員、古川委員、室田委員、後藤委員
欠席委員	—
出席者 （オブザーバー）	西名古屋医師会 高木オブザーバー
出席者 事務局	<p>（清須市役所高齢福祉課）</p> <p>丹羽健康福祉部長、石田課長、浅井課長補佐、青山課長補佐、鳥居係長、田中主事</p> <p>（清須市社会福祉協議会）</p> <p>清須市地域包括支援センター 飛永管理者、丹羽係長</p> <p>水谷生活支援コーディネーター</p>

会議の経過	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>●事務局 皆様、こんにちは。 ただいまから「令和7年度第3回清須市地域包括ケアシステム推進委員会」を始めさせていただきます。高齢福祉課長の石田です。よろしくお願いいたします。</p> <p>会議に入る前に、委員の皆様にあらかじめご承知いただく事項として、清須市では附属機関等の会議の公開に関する要綱を定めており、附属機関等の会議及び会議録は原則公開することになっておりますので宜しくお願い致します。</p> <p>なお、本日の傍聴の方はありませんのでご報告させていただきます。 それでは、次第に沿って会議を進めさせていただきます。 最初に、開会にあたりまして、健康福祉部長の丹羽よりご挨拶を申し上げます。</p> <p>●事務局（健康福祉部長） 〔部長あいさつ〕</p> <p>●事務局 ありがとうございました。 これより議事に入りますが、議事進行につきましては、設置要綱第5条第3項の規定により委員長が議長になることになっておりますので、議事進行につきましては、加藤委員長に議長をお願いいたします。よろしくお願いいたします。</p> <p>◎加藤委員長 議事進行にあたり、本日の会議録署名委員には、宮田委員と古川委員を指名させていただきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。 (宮田委員、古川委員承諾)</p> <p>それでは、3議事について(1) 清須市の認知症への取組について事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>3. 議事</p> <p>●事務局 〔資料に沿って説明〕 3議事</p>
-------	--

## 清須市の認知症への取組について（資料1）

### ◎加藤委員長

ただいまの説明に何か質問・意見があればいただきたいと思います。清須市内には周辺と比べて認知症カフェの開設が非常に少ないということですが、中谷委員、実際にやられている立場からなにかご意見いただけますでしょうか。

### ○中谷委員

資料にありますとおり、清洲の里では認知症カフェということでかぼちゃカフェというものを結構長い間やっています。ただ残念なことに、今のところ外部から来ていただくということが遠のきつつあって、施設内の行事的要素が強くなってきたかなという状況があります。施設の中にあるということで、一般の方が行きづらいという印象をお持ちということなので、こんなふうだったら行きやすいというご意見があればぜひ取り入れて、地域にある資源としてオープンいただければいいなと思います。

今うちの施設としては外部へ出ていくということに力を入れて、出前講座によく出かけております。ご要望があれば認知症のこともしっかりお話しできる体制を作っていきたいと思っております。来年度は小中学校とも交流をもって、介護のこと認知症のことをお話ししていきたいと思っておりますので、そういう中で施設としてこういうことをやると良いのではないかというお話があれば、聞かせていただければと思います。

### ◎加藤委員長

市民の方に認知されているかどうか、広報活動の面で検討の余地があるのかなという気がいたします。

櫻井委員、実際に地域活動の中で高齢者の方々と接する機会が多いかと思いますが、この方認知症かもしれないと感じたときに、こんな制度があればというようなご意見はありますか。

### ○櫻井委員

カフェをすとか来ていただくというお話になっていますが、まず、お一人暮らしの高齢者を訪問しますと、本人も自分が認知症だと思っていない。でもちょっとおかしいなと感じたり。それからご家族が隠したい、おじいちゃんおばあちゃんが認知症かなと思いつつも、そこから目を背ける感じがすごくあります。例として、あちこち歩き回って公共の場所から傘を持ってきて、おうちの中に傘がたまっちゃう。それを見てちょっとおかしいなと思って、息子さんにお電話をしたんですが、いやいやまだ大丈夫とご家族がそれを受け入れられない。そういう方が結構

いらっしやって、どうしたものかと困っています。

認知症とわかっている方は、普段から地域の人たちが見守りということで、うろうろとしていたらお声がけをしてという感じですね。それで対処するようになったら、介助するご家族のカフェなんかも必要だと思うけど、その前のことがすごく困っています。おうちの中にいらっしやって、認知症になって全然出てこられない方は本当に見えないですよ。一週間同じ洗濯物が干してあるとか、普段から地域の方で見るとというのが一番大事じゃないかなと思います。

#### ◎加藤委員長

認知症であるかないかということを確認診断するよりも前に、少しおかしいなというときに助け合う、地域のコミュニケーションの重要性ということですね。

(4) 認知症に関する施策が記載されておりますが、高松委員、警察の方で実際にこれらを踏まえて何かこういうものはどうかというご意見はありますでしょうか。

#### ○高松委員

資料1-①の1のところにある、一般市民の発見が一番多いというのは本当で、届出をしたからといって警察官が発見できるかということ、切り口もなく難しいのが実情です。清須市の方では防災無線にご協力いただいております、それを聞いた一般の方から通報を受けたり、中には他署から手配が出ている高齢の方を発見したこともあったり、本当に助かっております。

支援を受けられる行政機関に一日でも早く相談してくださいとご家族にも助言していますが、その際にGPSをご検討くださいとお願いをしております。警察官が探すと言ってもマンパワーに頼らざるを得ず、パトロールやほかの捜査活動をしている警察官を捻出して探していますが限界がありますし、警察官の事情だけでなく、今のような寒い時期や夏の暑い時期は命に関わってくることもあります。

ご家族の方には背中を押すことしかできませんが、こういった市の施策も勉強して今後助言の参考としたいと思います。

#### ◎加藤委員長

それぞれの家族の方で、症状に応じてGPSなどの対応をとということですね。

丹羽委員、愛知県での取組というのは何かありますでしょうか。

#### ○丹羽委員

当県では、愛知県認知症施策推進計画に基づいて認知症施策を推進し

ております。先ほど事務局から資料1-②で今後に向けてこういうことをやっていきたいというお話がありましたが、(4)で本人発信支援というのがありまして、これに関連して、愛知県認知症希望大使を委嘱して、認知症の方ご本人から「認知症と共に生きる」を発信してもらうことで広く認知症に対する理解を深める活動を実施しております。地域の身近な市民の方で本人発信ができる方がいれば良いのですが、対象の方が見つからないというようなことがありましたら、愛知県にご依頼いただければ普及啓発活動や研修のご協力が可能ですので、ご検討いただければよろしいかと思えます。

◎加藤委員長

本人発信は保健所に問合せすれば良いですか。

○丹羽委員

福祉局をお願いします。

◎加藤委員長

それでは、続いて(2)就労的活動支援について、説明をお願いします。

●事務局

[資料に沿って説明]

就労的活動支援について(資料2)

◎加藤委員長

ただいまの説明に何か質問・意見があればいただきたいと思えます。

○中谷委員

いくようを広報でも拝見したことがあります。これを載せて成果というのはあるのでしょうか。

●事務局

成果というとマッチングが成功したということになりますが、いくよう内で申込みできる活動で言うと1件、活動情報の閲覧ということになると10件程度となっています。なかなか成果が出ないという状況です。

○中谷委員

広告代理店からの営業もあって、来年度の利用を前向きに考えています。私どもの施設でもボランティアさん等がコロナ以降本当にいない、そういった話ですとか、高齢の方でも清掃のような業務に携われる

方がいないかなということで求人情報などを載せたいと思っているので、ぜひ使いたいと検討しています。

◎加藤委員長

そのほか、ご意見とかご質問はありますか。

鹿山委員、この総合福祉センターでも、碁や将棋をやっていたかと思いますが、実際そういったものを発信するというようなことはありますでしょうか。

○鹿山委員

社協の関係では、先ほどもお話がありました登録ボランティア団体などの情報をいくよう出しています。

私も先ほど自分のアカウントを登録したのですが、健康けん玉サークルの活動の案内とかそういったものもいくつかありました。まだ慣れていなくて、どんな活動が出てくるのか探し方が私自身わからなかったのですが、地図とかテーマ別で検索をかけるとそれが出てきたりとかということで、今後情報が増えてれば、利用者の方もどんどん増えてくるのかなと考えています。社協でもボランティア活動の情報などをできるだけ掲載して、活用できればと考えております。

◎加藤委員長

市としては、いくようを広報活動の中心的な媒体として利用していくという考え方でよろしいでしょうか。

●事務局

今後はなるべく広げていきたいというところです。スマートフォンが使えるかというところもありますが、なかなか企業の掲載というのも難しく、思うように進んでいません。今後は掲載していただける情報をなるべく多くしていったって、登録していただく方も増やせるような方法で進めていければなと考えております。

◎加藤委員長

鎌田委員、実際いくようでたくさん情報が発信されたとして、寿会に入っておられる方などは、スマートフォンの利用含めこういったものを手際よく使えそうなのか、現実はいかがでしょうか。

○鎌田委員

我々老人クラブでは、なるべく会う機会を多くしたいと考えておりまして、同じような年寄り仲間が集まって、いろんな世間話をしながらボケ防止、認知症予防をやりたいなということで、集まってお話していま

す。今までですと、喫茶店で集まったりしてきていたんですけど、喫茶店が西枇杷島地区だけでも十分の一くらいに減りまして、そういう意味でも本当に老人会の仲間も集まる場所がなくなっちゃったんですね。そういう意味でも、市の施設でもどこか隅の方に簡単なインスタントコーヒーでも飲めるようなスペースを作っていただければいいかなという話をしているんですけど、それを一つ、市でもご検討いただければありがたいかなと思います。

◎加藤委員長

集まる場ができて人が集まれば、そこでこのいくようも誰かが広めていただけるということかなと思います。

他にご意見ご質問はございますか。

それでは、4その他になりますが事務局からお願いいたします。

4. その他

●事務局

今年度のケアシステムの会議は、これで終了となります。

来年度は令和8年4月以降に予定しています。日程が決まりましたら、連絡をさせていただきます。

以上でございます。

5. 閉会

◎加藤委員長

それでは、議題も全て終了しましたので、委員の皆さんからの様々なご意見をいただき、ありがとうございました。

今回の議事につきましては、全て終了いたしました。

本日は、円滑な進行にご協力頂きましてありがとうございました。それでは、マイクを事務局にお返しします。

●事務局

本日は、貴重なご意見をありがとうございました。これをもちまして、令和7年度第3回清須市地域包括ケアシステム推進委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

会議の結果

会議の経過に示したとおり

会議の経過を記載して、その相違のないことを証するためにここに署名する。

署名委員 宮田 壮一

署名委員 古川 秀和